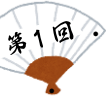


熊本学(史跡)コース

残し 伝えたい 私たちの宝

～史跡からわかるこれまでの歩みとその価値～

熊本の史跡について ～近年の史跡の動向は～



5月17日(金)

講座では、熊本県内における文化財指定の状況や近年の傾向、熊本地震等の災害と文化財の話など、詳細なデータを基にお話いただきました。

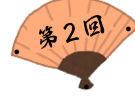
また、歴史文化を活かして魅力ある地域づくりに取り組み、地域総がかりで熊本の宝である文化財を次世代につなげようという将来への展望も知ることができました。



熊本県教育庁教育総務局文化課
参事
本庭 真由子 先生

地域に愛され語り継がれてきた熊本が誇る史跡をピックアップし、学びました。

熊本の宝である史跡の価値・魅力を再発見する講座でした。



中世の遺跡「菊池氏遺跡」 ～450年続いた菊池一族の足跡～



5月24日(金)

菊池氏遺跡は、令和6年2月21日に国史跡に指定されました。

講座では、菊池氏の歴史と活動をしてきた拠点について、深川・北宮地区、限府地区の遺跡調査成果をお話いただきました。

出土した遺物には宋の品も見られ、貿易が盛んであった事がうかがえます。

また、当時の様子を想像して描いたイラストから、菊池氏の拠点の立地や景観をうかがう事ができました。

指定された遺跡をどのように地域に生かしていくか、今後の展望が期待される遺跡です。



菊池市教育委員会
歴史教育専門員
佐佐木 欣一郎 先生



祝！国宝！「通潤橋」 ～熊本の宝から日本の宝へ！近世石橋の傑作～



5月31日(金)

通潤橋は1854年に上益城郡山都町に建造されました。近世最大級の石造アーチ橋です。

講座では、日本における石造アーチ橋の概要と建造数についてと通潤橋の歴史と地域の人々との関わりや国宝の認定において着目された橋のポイントを学びました。

民衆のために作られた通潤橋は約170年経った今も、人々から大切に守られ、使われてきた事が分かりました。



山都町教育委員会
主任学芸員
西 慶喜 先生



国宝！青井阿蘇神社の今 ～水害からの復興～



6月14日(金)

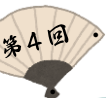
青井阿蘇神社は、健甕龍命(タケイワタツノミコト)・阿蘇都媛命(アソツヒメノミコト)・速甕玉命(ハヤミカタマノミコト)を祭神としてお祀りし、平安時代から続く由緒ある神社です。

講義では、令和2年7月の豪雨災害当時のエピソードと復興状況、新たに完成した「青井の杜国宝記念館」や水没したご神刀「青井大明神」についてお話いただきました。

地域に愛され、心のよりどころとして人々に支えられる神社であることが、講義から見えてきました。



青井阿蘇神社
宮司
福川 義文 先生



復旧完了した熊本県最古の洋風建築物 ～ジェーンズ邸の歩みとその価値～



6月7日(金)

現地学習場所：
熊本洋学校教師ジェーンズ邸

ジェーンズ邸は、1871年に開学した熊本洋学校にリロイ・ランシング・ジェーンズを迎えるため、建築されました。

今回の現地学習では、建築構造や今までの移築経緯、洋学校を卒業した生徒達について、学びました。

また、熊本地震後に復旧された姿を初めて見学する受講生も多く、以前訪れた時との違いを確認する受講生もいました。



熊本市文化市民局文化財課
文化財保護主任主事
松永 直輝 先生

現地学習



受講生の感想

- ・菊池氏の遺跡など今まで知らなかったので大変興味を持ちました。ジェーンズ邸は何回も行ったことがあったが学芸員の方の話が参考になりました。
- ・より詳しく熊本にある宝「史跡」について知識を得る事が出来たため、また、語り続けていこうと思いました。